

橋本小学校 出張授業の報告

令和8年5月22日金曜日

日程:令和8年5月13日水曜日

対象:橋本小学校

6年A組 27名 (10時50分~11時35分)

6年B組 27名 (11時45分~12時30分)

担当者:向委員、戸島、上原さん、村上さん

準備物:小学校→ホワイトボード(各班1枚ずつ)

事務局→こども用パンフレット(授業で使用)

条例パンフレット、すごろく(授業終了後担任より配付)

授業進め方

- ・昨年度末作成の「こども用パンフレット」を一人一部ずつ配付し、パンフレットの内容を教室のモニターにも表示する
- ・授業の進め方は、前半は向委員で後半は戸島が担当し、城山小学校の授業で行った会話形式から、委員が説明する形式に変更した
- ・児童は3~4人の班にわかれてグループワークをする
- ・担任より「法律」と「条例」の違いなど説明を入れてほしいとのことだったので、導入部分に盛り込んだ
- ・担任より授業の説明を行い、委員の授業導入へと移行する
- ・こども用パンフレットの1ページ、6ページ、10ページの記入部分についてグループワークを行い、6ページと10ページの2箇所は担任から班を当ててもらい、結果全ての班に発表してもらった
- ・前半と後半の委員交代のタイミングは、6ページのグループワーク中に交代準備し発表時点で交代済みにした

改善点

- ・最初は緊張した面持ちの児童だったので、アイスブレイクのようなリラックスできる入り方をしてはどうか(時間配分が厳しくなる面もあるが)
さらに「橋本市のここが好き」につながると良いと思う
- ・子どもの人数が減る説明の時、橋本小学校の場合は全校児童の約半分が減るとい

うな説明がある

具体的な数字だが、児童の皆さんにはなかなか想像しにくいように思った

・今後、委員が2人以上参加する時は、板書も活用する工夫をしてはどうか

感想

前回は比べるとスムーズに進行できたように思う

初めは何が始まるのか不安や緊張したような雰囲気だったが、時間が経過するとともに自分たちで意見を交わし、積極的に参加してくれた

中には大きく頷く児童もいて、それは共感だったり、理解だったり、何かしら自分の中に落とし込めている証拠だと考える

前回の反省を生かし、グループワークはヒントなしで進めた

すると、とても発想豊かな意見がたくさん出た

繰り返し伝えた「子どもだからできないではなく、子どもだからできること」を児童の皆さんが感じ取り伝わっているのだと嬉しく思う

児童の皆さんの前向きなチカラが今後発揮され、意識の向上ができるのではないかと期待している